

## 第2回 呉市ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会 摘録

開催日時：令和6年5月24日（金）13：30～

開催場所：呉市役所本庁舎2階 防災会議室

### 1 開会

### 2 前回議事録の確認（資料1）

資料1「第1回 呉市ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会 摘録」については、実施方針公表後に公開する。

### 3 事業者選定スケジュール（資料2）

資料2「事業者選定及び委員会スケジュール」について、事務局より説明を行った。

#### 【意見】

委員 第2回委員会では、落札者決定基準書を作成するための基本的な内容の審議及び評価の視点について意見を徴収し、委員会意見を反映させたいうえで次回委員会時に落札者決定基準（案）が示されるとの理解でよいか。

事務局 お見込みのとおりである。

### 4 実施方針について（資料3）

資料3「実施方針（案）」について、事務局より説明を行った。

#### 【意見等】

委員 処理能力という表現を用いているが、解釈が不明のため誤解を招かない表現に修正したほうが良いのではないか。

#### 【質問・回答等】

委員 粗大ごみ処理施設の施設規模の算定においては、月変動係数を考慮しているか。

事務局 月変動係数は過去の実績から1.17として考慮している。なお、粗大ごみ処理施設の施設規模に関して、破碎機で処理を行わない量（焼却施設に設けるせん断式破碎機で処理を行う量）を精査し、施設規模を再度算定した。

委員 運営開始2年間経過後に現場総括責任者を変更する場合、変更後の責任者にも実績要件を求めるか。

委員 運営期間中の現場総括責任者の配置は、要求水準書に規定する内容と考える。

委員 委員意見を踏まえ、実施方針の修正等は事務局一任とする。

## 5 議題

### (1) 落札者決定基準に関する資料について（資料4）

資料4「落札者決定基準に関する資料」について、事務局より説明を行った。

#### ◆評価方法等について

##### 【質問・回答等】

委員 審査方法は、基本的には判定方式でよいと思うが、定量的に提案される内容については数値方式としてよいのではないか。

委員 定量評価が可能な項目もあるが、多くの項目が提案された数値の差がどの程度の評価差になるかの基準を設定することが難しい。

委員 定量的な評価基準を設けるのが難しい項目については、順位方式を用いるのはどうか。

事務局 すべての審査の視点を総合的に評価したいため、定性評価が適切と考えている。  
また、委員の考え方で評価に差が出ることについては、提案書提出後に意見交換会、勉強会等を行うことで、各委員の審査（評価）に関する認識を共有し、評価を行う上での参考にしていただくことを考えている。

委員 順位方式は、提案内容としては少しの差でも、自動的に1評価分の点数差がついてしまうため採用した事例はない。最終的には、意見交換等を踏まえて各委員の判断で評価を行うものと考えている。

委員 本委員会は、意見交換を行ったうえで個別採点方式により評価を行うという理解でよいか。

事務局 お見込みのとおりである。

委員 評価の参考とするために、国内で近年評価されている類似施設の性能等を参考に提示してほしい。

事務局 評価の参考とできる情報があれば提示する。

委員 ①定量化限度額を設定する理由はなにか。性能発注の場合は、性能保証を求めするため、定量化限度額を設定しない事例もある。

②予定価格は事前公表するか。

事務局 ①定量化限度額は、ダンピングを防止することを目的として設定する。

②予定価格は事前公表する予定である。

#### ◆評価項目（審査の視点）について

##### 【意見、質問・回答】

委員 ①火災については、リチウムイオン電池によるものが多いと理解しているため、具体的に明記するほうがよい。

②「本市の特長」として、沿岸部の立地や塩害対策を考慮した提案を求めたい考えがあれば明記したほうがよい。

- ③「環境学習」の注釈の記載は、社会科見学と行政視察両方に対応してほしいという意図か。
- ④工専用車両の動線等を含め近隣対応の提案を求めたほうがよいのではないか。
- 事務局 ③施設見学の主な対象が社会科見学と行政視察のため、ターゲットとして記載している。
- ④近隣対応として、隣接する精密機械工場への配慮は求めたいと考えている。
- 委員 公害防止基準に関して、市として公害監視基準より厳しい独自基準を設ける考えはあるか。
- 委員 基準値を下げると建設費・運営費は上がるため、市として低い基準を求める場合は要求水準に明記する方が良い。なお、さらに低い基準値で運営すると、広い範囲で環境に悪影響を及ぼす可能性があることも考慮しておく必要があると考える。
- 事務局 現施設では公害監視基準値より低い基準値を設けており、次期ごみ処理施設においても同様の基準を求めたい考えである。評価の中で基準値の設定の考え方については提案を求めるが、基準値が低ければいいとは考えていない。
- 委員 運転の精度が高ければ、運転基準値を停止基準値に近い値で設定できるが、市がごみ質の情報をどの程度提供できるかも事業者の提案に影響する。基準値の設定は費用とトレードオフの関係になるが、費用は価格点に反映されるため、定量化審査においては、技術が高い提案を高く評価すべきと考える。
- 委員 次期ごみ処理施設は、災害発生時に避難所として使用することを想定しているのか。
- 事務局 現時点では、避難所として使用する想定はないが、津波発生時の一時避難場所に指定されているため、一時避難を考慮した提案を求めたいと考えている。
- 委員 評価は、小項目ごとに行うという理解でよいか。
- 事務局 お見込みのとおりである。
- 委員 審査の視点では、「これまでの実績」に基づく提案を求めている箇所が多くあるが、これは新技術等の提案は求めないという意図か。
- 事務局 基本的には、実績に基づく提案を求めたい。新技術等に関する提案は否定するものではないが、経験を踏まえたものを評価したいと考えている。

## (2) その他

- 第3回委員会 7/31(水) 13:00～ 場所は開催通知にて各委員に連絡する。

## 6 閉会

以上